



■インタビュー

アーバンリゾートフェア 神戸'93を終えて 妹尾美智子さんに聞く (文化部会委員長・神戸文化ホール館長)

——アーバンリゾートフェア神戸'93も、9月30日に彫刻家・新谷英子さんの制作による「文化の火」が、神戸文化ホール20周年を記念して前庭に設置され、閉会式に笹山幸俊市長の手によって点灯された。

このフェアの文化部会長で、当ホールの館長妹尾美智子さんにインタビューし「夢体験」を語って頂いた。

★実行委員会づくりが市民参加の成功の鍵

「文化の灯を灯してほっとしています(笑)」

1年半前ぐらいに「アーバンリゾートフェア」って何かを誰も判っていないで正確に答えられなかった(笑)。

それにしてもまあ、何とか成功したんじゃないかな。

ムチャクチャに実行委員会を作って、あれだけの人々が市民参加して下さったのがよかった。最初に神戸まつり方式のスタイルで汎山実行委員会をつくり、その人たちが一生懸命頑張って下さったという組織づくりをしっかりやったことですね。

最初の文化部会で、コーラスの好きな人に歌舞伎を観るとすすめても無駄だし、歌舞伎ファンにシャンソンをすすめても駄目だと、舞踊家の若柳吉金吾委員がいわれ

たんです。自分の好みに合ったもので参加するのがいいと、あれはいい意見でしたね。

「神戸の山へ登る」はこの方、「シャンソンの一週間」はこっち、「コーラスの一週間」はあの人、「神戸国際映画祭」はこの人と、色んな分野の方に実行委員長になって頂いて、自分の趣味や、好みに合ったところに参加して、このフェアのよさを感じてもらえたと思うんです。外からのご批判はともかくとして、この輪の中に入った皆にとっては楽しいフェアだと実感されたのではないのでしょうか。」

——神戸まつり方式の拡大という点では、一つの方法論を市民が編み出して来たということは大きいですね。

「神戸まつり方式」といえば、役所の人も、市民側も理解できますからね。神戸まつりの20数年間の方法論の積み重ねは市民にとっても大きな歴史であり財産ですね。

よそが真似をしても、各区の実行委員会とか、それぞれの企画の実行委員会をやっても、20年の歴史がないと出来ないですよ。委員各自が、自分自身のことのように知恵を出し合ってやったんですし、好みをやりたいようにやったんじゃない(笑)。



開館20周年を迎えた神戸文化ホールの前庭に、アーバンリゾートフェア神戸'93の閉会式「神戸文化の灯」が灯った。(右)各区から子供たちが文化の火を運ぶ。
(中)彫刻を創った新谷英子さん、市長、市歌を唄った田原総一郎さん。市長がたいまつで火を灯す。

★フェアを機会に神戸の文化イベントの情報化が出来た

——何が印象に残っていらっしゃいますか。

「私としては組織づくりをして、組織の実行委員の方々が動き出された時に、あっこれで私の仕事は終わった。それから4月から動き出した時に、この情報を手軽に皆さんに提供出来るようにしなくてはと、情報提供の方法論が大事と次に思っただけです。これも上手くいったので、神戸の文化の情報化が出来たと思いますね。

何といっても印象深いのは開会式ですよ(笑)。

真夜中に開催といった時に、一番決ったのは役所の方々と、そこを説得するのが大変だったけれど、一応乗って下さって、行政の方々も協力して下さったんですが、やはり一番インパクトが強く印象的でした。あの時の笹山市長が、文化の灯をつける時、カッコよかったねえと誰かいつてもしたけれどね。ウオーターフロントを舞台に、自然と共生しつつ真夜中に演出するのは前代未聞でしたからね(笑)。

だからこれからは、神戸の自然環境をいかに上手くりいれて文化イベントや文化事業をやるのが非常に大きな条件になってくるでしょう。

逆にいうと神戸でなければ出来ないイベントは絶対あると思う。山があつて、町があつて、海があつて、田園地帯があつてという立地条件は他にないですよ。

これを機会に神戸の文化を広げて行くのなら、皆が、自然環境を大事にしながら、文化を育くむことでしょね。真夜中のハーバーランドの開会式をやりながら「あーこれが神戸の文化なんやなあ」と夢体験した訳(笑)。

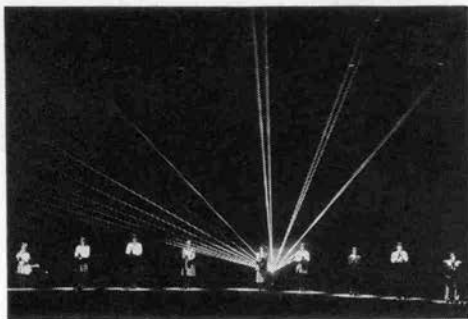
終って感じるのに、文化部に東京の委員さんを加えたこと、石井好子さん(日本シャンソン協会会長)、植木浩さん(東京国立近代美術館館長・元文化庁長官)、中田幸子さん(日本女声合唱団団長)、宇野功芳さん(音楽評論家)らのご意見で、私達は、市民参加で、神戸は神戸は神戸はでやりすぎる。神戸神戸といわんと日本で



兵庫区代表望月美佐さんの書



須磨区須磨ビューティコルズ



9区の子供たちが文化の灯を

といつてよと東京勢にいわれて、東京を巻き込み、全国を巻き込んだ形になったのですが、今、終って東京の人が神戸に来て、アーバンリゾート都市ですから恵まれているから、神戸でホッとしたい。しばらく滞在してみたいと思っただけなら凄いなと思っただけです。

東京都民も都民税を%東京へ払って、神戸のような環境のいいところで文化を楽しむために神戸へ%来てもらって神戸市民税を%払ってもらったらかい(笑)。

というようなシステムづくり、東京都民だけだと神戸市民でもあるようなシステムをつくって、神戸の花火大会やフルーツフラワーパークのイベントなんかを知らせ、東京都民が神戸市民にもなって遊んでくれるといいんじゃないかな。ぜったい面白いですよ(笑)。

自然環境に恵まれた神戸で文化を楽しもう、ちょっと神戸へ滞在して楽しんでこようよという。%流星を見る夕べ%がそうで、流星をみるためには神戸でキャンプを張りたいよね。シャンソンも神戸でとなつて来てるし、60才のデビューもあるで中年のおばさま達は来る。もう一つ中年の男性諸氏に、神戸のほっとする文化をあげたい(笑)。

★ポスト・アーバンリゾートフェアは神戸文化歳時記に「いわゆるポスト・アーバンリゾートフェア神戸'93」ということですが、「国際神戸映画祭」とか「神戸を詠む」とか「アーキラリー」とか、「神戸・印象絵画展」など遺して行きたいものを、毎年か、隔年か、三年毎に開いてその中で地道なものが残るんじゃないでしょうか。

自分たちのやったものは遺したいというのもあるのでよく整理して、「神戸まつり」を中心にして前後にプログラミングして行くとかね。「パリ祭」を中心にくり展げるとかね。秋がきたら絵とか文学をやるといった風に、神戸の四季に上手く配分して文化歳時記にして行きたいですね。文化情報のシステム化を上手くからめて、現在のアーバンリゾートフェアの事務局の場を、文化情報センターにして頂くと市民が判りやすく、寄り易い場になりますね。そこで好みに合せて自分の情報をもらって文化イベントを楽しめますから。

このフェアで、町も花で飾って美しくなつたし、お客様を迎える市民の心配りもよくなつたし、舞台づくりを市民がやって、好みの踊りを市民が踊った訳ですから、フェアの理想と夢は、少しは具現化できたと思いますよ。」

アーキテクチャーフェアの ファイナルセレモニー 甲南女子大荻原講堂で



上段左より／神戸ポートタワー・商船三井ビル・しあわせの村(上)／兵庫県公館(下)／神戸ポートピアホテル
下段／表彰式の模様

9月25日甲南女子大学で、ファイナルセレモニーが行なわれ、安藤忠雄さん(建築家)、高坂正堯さん(京都大学教授、国際政治学者)の講演、パイプオルガン演奏などに続き、「神戸建築百選」市民大賞・特別賞」の表彰式が行なわれた。受賞建物、当日代表として表彰を受けた方々は以下の通り。

△神戸ポートタワー▽神戸港振興協会 清水賢二郎常務
△風見鶏の館▽(旧トーマス邸) 小高根館長
△新神戸オリエンタルシティ・C3▽竹田谷武司常務取締役
△淵上家住宅▽淵上源治さん
△石峯寺▽中谷達明住職
△商船三井ビル▽大阪商船三井船舶神戸支店 池田修身副支店長
△兵庫県公館▽兵庫県総務部管財課 嶋田課長
△神戸ポートピアホテル▽神戸ポートピアホテル 中内力社長
△しあわせの村建築群▽岡山県市民福祉振興協会 福岡専務

そして最後に、今回のフェアにおいて、神戸のまちというステージで主役を演じた「建築」から市民の皆さんへとして、「親しみをもって私たち「建築」を大切にしてください」「いつまでも愛される私たち「建築」をつくってください」「豊かな心で私たち「建築」をはぐくんでください」とのメッセージが送られた。

URBAN
DESIGN
FAIR
KOBE'93

会期 平成5年4月～5月

「印象神戸」絵画展

神戸市立博物館で開催される



9月25日(土)、神戸市立博物館にて、「印象神戸」絵画展の開会式、続いてオリエンタルホテルにて同表彰式、オープニングパーティーが開かれた。

同絵画展では神戸に訪れた印象を表現した絵画を、昨年9月より今年8月末まで全国に公募し、審査会を開いた。神戸市立博物館では9月25日(土)より10月23日(土)まで、大賞、優秀賞、佳作作品を含む、応募作品65点の中から選ばれた作品80点あまりを展示。会場には神戸をテーマに様々な角度から表現された、30号から100号の大作が並んだ。会期中には入場者によって選ばれた市民賞5名も決定される。

審査委員長は河北倫明、審査委員に石阪春生氏、石本正氏、小倉忠夫氏、絹谷幸二氏、富山秀男氏、中西勝氏、増田洋氏。パーティーで小倉氏は「たくさんさんの応募の中から入選作品を選ぶのは大変でしたが、神戸の様々なチャームポイントが表現されていて、とても楽しいコンクールでした」と講評した。表彰式には大賞の榎並和春氏、優秀賞の池末満氏、古巻和芳氏他、佳作の5名が表彰された。大賞を受賞した榎並さんは受賞者を代表して、「神戸は私のふるさと。今回の受賞はふるさととの神戸が私にプレゼントしてくれたと思っています」とあいさつした。

竹中郁賞設立に向けて

□座談会出席者（敬称略・順不同）

伊勢田 史郎〈詩人〉

安水 稔和〈詩人〉

君本 昌久〈詩人〉

竹中郁賞の提案

君本 竹中さんが亡くなられて2、3年経った頃、今日集まっている3人が選考委員をしている「ブルーメール賞文学部門」の選考会の際に、竹中郁賞という話が出て徐々に考えていけば、としていたところが去年で10年経ってしまった。それと竹中さんと私達は25歳違います。そういうことを考えると私達が持っている竹中さんに対する親近感、生で知っている部分と詩の上で知っている部分の両面に触れているのは、四半世紀離れている私達の世代が最後だと思えます。そういう意味においても竹中郁賞を設立するのなら今がいい機会ではないでしょうか。

伊勢田 神戸芸術文化会議では、今、どうすれば竹中郁賞を実現できるのかを話し合う委員会ができたところです。その中で実現のために研究、調査を進めていこうという段階ですね。

安水 補足しますと、去年「神戸っ子」から「私の意見」で何か書いてくれないかという話がありまして、竹中郁賞と文学館について提案しました。「芸文」からも

原稿を依頼されたので、「神戸っ子」に書いたことをもとにして再度提案をしたんです。それを目にされた芸文の人達が中心となって「文学館専門委員会」と「竹中郁賞専門委員会」ができたわけです。どういうところでどういう形で竹中郁賞ができるのか、はこれからということになりますね。ただ丁度いい機会ではあると思うんです。

現在編集をすすめているところなんです、東京の思潮社から『現代詩文庫―近代編―』の一冊として竹中郁詩集を出版することになっています。竹中さんの詩を掲載した若い人にも手頃な800円のハンディな本になります。来年の始めにはできると思っています。この際いろんな形で竹中郁賞を盛り上げていきたいですね。

竹中郁の詩的態度

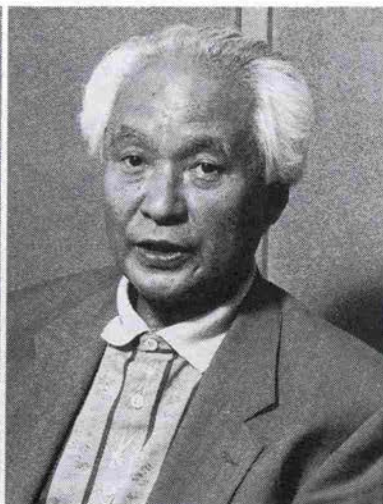
君本 生前にひところよく言われたことだけれども、神戸モダニズム、イコール竹中さんというイメージがある。しかし中央ではそういうところを話題にしなかった時期がありました。今では変わってきていますが、そういう認識のされかたが若い人が竹中郁の詩を読むことに距



君本 昌久さん



安水 稔和さん



伊勢田 史郎さん

離をもたせていると思います。実際モダニズムやシュールなどというところからは竹中さんの詩は離れているのではないのでしょうか。

安水 大正から昭和前期、昭和前期から戦後にかけてのある種公式的な詩の流れの流れがありました。けれどもここ10年ぐらいの間に、図式化された詩に対する考え方は崩れてきているのではないのでしょうか。そういう意味でも竹中さんのそして竹中さんと同時代の詩人たち一人一人の良さが見えてきたと思います。だからこそ今若い人達に竹中郁の詩を読んでもらいたい。大学で学生にシナリオの形式で書かれた革新的な作品「ラグビー」とかを読ませると一瞬とまどって次にはおもしろがるんです。ただ昔の事情を知らないわけで、例えば「かんてき」とか「卵売り」とか。でも説明すると自分にひきつけて読んで楽しんでる。図式的にいわれていたことが打ち破られてきていると思います。先程君本さんがおっしゃったモダニズムに関しても、ひとつの流れとしてしか見られなかったのが、一人の詩人の良さを根本的に見られるようになってきていると思います。

伊勢田 竹中さんがモダニズム的な詩を書いたのは「象牙海岸」が中心でしょう。ただよく読んでみるとモダニズムの潮流を受けながらも、人間として生きてきた上での面白さがあちこちにある。ところで「ラグビー」です。あの詩は竹中さんのピークといったもので、竹中さんの詩の流れからあれだけが突出しているように思われませんか。

安水 大正モダニズムのウィット、その流れからきているのではないのでしょうか。

君本 ウィットについて私が思うのは、竹中さんは24歳のとき小磯良平さんとフランスへ行ったでしょう。いろいろ感じたと思うけれど、一番驚いたのはジャン・コクトーだと思う。芝居やオペラ、映画と多方面にわたる活動をしていた、寺山修司のようなジャン・コクトーに影響されて、竹中さんのウィットが生まれたのではないだ

ろうか。そのフランスでの経験をいかして書かれたのが『象牙海岸』。ところが『動物磁気』など戦後に書かれたものを読むと、確かに戦争による空襲で全てを失ったことは大きな打撃だったと思うんだけど、ケロツとしてまた詩を書きだすというところが竹中さんの詩の魅力だと思います。

伊勢田 彼には乾いた人生観みたいなのがあるから。安水 竹中郁の詩の流れでいうと一番初期の奇麗ないうかハツとするようなものから、『署名』あたりでは内省的になって自我というものをしっかり書いていこうというように変わってきている。それから『龍骨』になると、この場合はいろんな素材、戦争や沖縄などが入ってくる。それをガラツとひっくり返したのが『動物磁気』で、そのあとにくる『そのほか』や『ボルカマズルカ』と丹念に見ていくと、しっかりした詩人というのは皆そうだけれども、個人の一生にみあう時代がとてもよく見えてくる。

伊勢田 確かにそうですね。いい仕事をたくさん残されて、また神戸の代表的な詩人でもある。東京では評価されなかった部分があったかもしれないけれど、必ずしも地方の詩人ではなかったと思う。安水さんも言われたように彼の作品からはひとつの時代背景のようなものが匂ってくる。それだけではなく彼は非常に誠実に生活と向き合いながらも自分の詩的態度を崩さずに、自分に厳しくされたのではないかと思います。今思い出したんですが、竹中さんは自分の詩を決して安売りしませんでした。私がある会社から頼まれて、レジャーランドを作るからその歌を作詞して欲しい、ぜひ竹中郁さんに頼んで欲しいと言われたんですね。そこで竹中さんのところに話をしに行ったところ「だいたいできてるのか？」と聞かれるので「いえ、まだ山です」と答えたら「私は断る」と。「いや先生、10万円ですよ」と言いましたら「いやあかん。金は欲しいけれども今の状態では書けない。できたところを見ないと私は書けない」と言われたんですね。

そういう人間としても詩人としても厳しいところが竹中さんにはありました。だからこそ私はこの詩人の賞を早く作り継承していかなければならないと思うんです。

竹中郁とこどもの詩

安水 竹中さんはこどもの詩に深い思い入れがあったんですね。それは戦後にでた『動物磁気』の次の詩集『そのほか』の題によく表れている。戦後は児童詩誌『きりん』の監修や選評を生きがいのようにされていた。その時期には自分の詩はメインではなく△そのほか▽なんだ、そういう意味合いだったと足立巻一さんは書いておられますね。それほど竹中さんが思われていたこどもの詩ですから、もし竹中郁賞ができれば一緒に「竹中郁記念こどもの詩大賞」が実現すればいいですね。

伊勢田 竹中さんは詩集を贈っても滅多に返事をくれないう方で、しかし私がこどもの詩集を作った竹中さんに贈ったときには返事をくれました。それほどこどもの詩に力を注いでおられたんですね。

君本 そのこどもの詩の話ですが、先程の話と重なるけれど、空襲で全てを失ってしまつて完全に裸になってしまった、でも自分には子供がいて生活していかなければならない。詩を書いていてそれができるのかどうか、という悩みがあったと思うんですね。一行なんぼで売れるのか、ということを考えながら書いている。丁度彼が40代に入ったころの一見すれば佳いと思われるような作品をよく読めば、つまりは△そのほか▽という詩の中に自分を組み込んで、詩というものを考えながら、それに対する形でこどもの詩にいとおいさを深めていったんではないだろうかと思います。

安水 『署名』という詩集では白髪のことや年をとったことなどが書かれている。でも竹中さんがそれを書いたのはまだ40前。戦後でも「小遺言」とか「大遺言」とかという作品を書いているけれど、それが50代のこと。少し私達の今の感覚とはズレがあるように思います。

伊勢田 死について焦点をあてているようなところがありますね。

安水 だから竹中さんは詩の未来に子どもの魂をみたのではないだろうか。だからこそこどもの詩に傾いていったんだと思います。

伊勢田 戦後すぐに、自分の友達の墓碑銘を竹中さんが書いたものを読んで、とてもおもしろく感じましたね。確か『動物磁気』におさめられていたと思う。

安水 『動物磁気』の最後のところに10人の知り合いの墓碑銘と動物の墓碑銘、それと一般のなんでもない人の墓碑銘も書かれてましたね。

伊勢田 とにかく早い頃から「死」を見つめていたんでしようね。

安水 詩人という自覚が早くからあったと思いますね。

『象牙海岸』のあたりからそれが見受けられます。「私は詩人」だとか「私はベン」だとかしつこいと思えるぐらいでできます。そういうところを見ると、ウィットに富んだモダニズムの技法をこらしたというよりも、芯のところには自分の内を見る眼というのが、とても感じられますね。

伊勢田 竹中さんは単なるモダニストという言い方にはおさまりきらない人でしたね。

神戸のシンボルとしての竹中郁

君本 別の側面から見ると、竹中さんは甘党でお酒を飲まれなかった。しかも他の人には見えないダンディなところを持っておられた。お洒落だね。地方の人が見れば神戸の海岸通をそういう人が歩いていたら「ああ、やっぱり神戸の詩人やな」というイメージを持つと思うんです。今までにも神戸で詩を書いてきた人や今もたくさんおられるけれども、ちょっといいですね。本当に竹中さんは例外中の例外です。

安水 神戸の詩人はたくさんいます。でもたくさんいるからといって、さて神戸の詩人は、というとな竹中郁の名

前がでてくる。

ダンディということでは、稲垣足穂のおもしろい話がある。竹中さんが学生の頃、あまりにもダンディなので周りから「なぐったるか」と言われていたらしいんです。そこで稲垣さんが実際に会いに行ったら、そうでもなかったの、皆を諫めたそうなんです。そういう若い時の話があります。

もうひとつ思い出すのは、小野十三郎さんが書いている話なんだけれど、大阪であった何かの会に竹中さんが真赤なシャツを着てこられたそうなんです。それがとても様になっていたらしい。あんまり似合っているから、小野さんがうらやましがっていたら、竹中さんが「これ阪急で売ってるで」と言われたんですね。小野さんは家に帰って奥さんに「あれ阪急で売ってるらしいわ」といかにも欲しそうに言うのと、奥さんに「あれは竹中さんやから似合うの」と言われて、結局買ってもらえなかったということを書かれてましたね。

伊勢田 昔『神港新聞』がありましたでしょう。その若い女性記者といっしょに取材に行っていたけれど、本当に目立っていましたね。

安水 姿勢が良くてね。

君本 でも今でこそ高齢化社会とかいってシルバークラスというようになったけど、竹中さんは若い時から銀髪だったでしょう。私なんかは竹中さんの黒髪をみたことがないな。

安水 戦後はずっと白髪でした。先程言いました『署名』の中に白髪の詩が2つでてきます。

君本 黒髪と言えば小磯良平さんが描いているラグビーの絵（『彼の休息』東京美術学校卒業制作として竹中郁をモデルに制作されたもの）だけですからね。

伊勢田 竹中さんは小磯さんの影響を受けて、絵のことをずっと考えていたし、自分でも描いたりしていましたね。

小磯良平賞はあるんだから、そういう意味でも、竹中

●竹中郁年譜

郁賞が実現するといひですね。
君本 今、日本各地に詩人賞がたくさんあるけれども、神戸近辺ではないんですよね。

また神戸は今でこそ異人館とかができているけれど、それ以前から神戸には異国情緒がありましたからね。そういう意味でも、そのシンボルとして竹中郁は最適かなと思います。

それに神戸の街というのは海と山の街ですよね。これは非常にサラッとして軽快な印象の地理的空間を持っていますよね。社会や歴史的にみればいろいろ陰惨な部分があるけれども、地理的空間として考えた場合、非常に明るい部分があります。そういう部分が竹中郁のキャラクターに全部こめられているという感じがします。神戸と一体のものを持っているというのかな。竹中さんその内には陰惨な部分を持っていたと思うけれど、それを実体としては私達の目に見えずに消してしまっている。そこが神戸の街に似ていると思いますね。

安水 賞についても、こどもの詩大賞も含めて、竹中郁の名のもとに、神戸のイメージ・シンボルとして実現されるというでしょうね。また、ただ単に文学という面だけを取り出して、それを継承するのではなく、文学と詩とエスプリを通して全国に発信する、そのイメージ・シンボルとして竹中郁の存在があるのではないのでしょうか。

今は文学賞とか詩の賞という見方で話がすすんでいるけれども、別の側面から、例えば神戸ではファッション都市やアーバンリゾートフェアという形で全国に向けて発信しているが、そういう発信のひとつの姿として「竹中郁賞」を考えていけばいいのではないのでしょうか。

一九〇四	四月	一日、神戸市兵庫区に生まれる。
一九一七	四月	兵庫県立第二神戸中学校に入學。同級に小磯良平がおり終生の友となる
一九二三	四月	私立関西学院文学部(英文科)に入學
一九二六	二月	第一詩集『黄蜂と花粉』を自費出版
一九二七	三月	関西学院文学部を卒業。
一九二八	二月	第二詩集『枝の祝日』を自費出版。
	三月	ヨーロッパ留学のため、十五日神戸を出帆。
一九三〇	二月	小磯良平とともに帰国。
一九三二	七月	第三詩集『一匙の雲』(ボン書店)を出版。
	十二月	第四詩集『象牙海岸』(第一書房)を出版。
一九三六	四月	第五詩集『署名』(第一書房)を出版
一九四四	二月	『新詩叢書』の一冊として第六詩集『龍骨』(湯川弘之社)を出版。
一九四六	四月	神港新聞社に入社。しかし翌年十月に退社する。
一九四八	二月	児童詩誌『きりん』(尾崎書房)が創刊。監修と児童詩の選評にあたる。
	七月	第七詩集『動物磁気』(尾崎書房)を出版。
一九六八	十二月	第八詩集『そのほか』(中外書房)を出版。
一九七三	十月	神戸市民文化賞受賞。
	十一月	紫綬褒賞受賞。
一九七九	五月	第九詩集『ボルカマズルカ』(潮流社)を出版。翌年二月、同詩集により読売文学賞受賞。
一九八二	三月	七日、午前五時四十分、脳内出血のため死去。

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町 6-5-1
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「ファッション都市神戸を考える」の企画は以上各社の提供によるものです。

もっちゃん HYGO WALK

■うるおいに満ちたさわやかな県土づくりをめざして

お互いの思いやりが 明日の景観をつくる

—景観の形成等に関する条例

お話を伺ったひと

大藤 朗さん 〈兵庫県都市住宅部都市政策課長〉

兵庫県では、うるおいとやすらぎに満ちたさわやかな県土づくりをめざして、昭和六十年三月に「都市景観の形成等に関する条例」を制定し、良好な景観づくりを行なってきました。

ところが近年、美しい農山漁村集落や自然景観の保全、周囲の自然と調和しない大規模建築物への具体的な指導が必要となったため、この度、「都市景観」という枠を超えた条例に改正されました。「まちの顔」だけでなく「むらの顔」も大切にしてこそ、県土を誇りとする心や、自然を愛する心が生まれるのです。

わたしたちは、まわりの環境を風景によって感じていることが多くあります。その風景には、地域の自然や歴史・文化、そこに住む人々の暮らしが映し出されています。このような風景を受け継ぎ、守り、子孫に残し

ていくことが重要なのです。見て感動する風景、知らず知らずのうちに心を動かされている風景は、人工物の中でなく、やはり自然の中に多くあるということを忘れてはいけません。

雄大な山なみにひとつだけ建つ、大規模建築物。風景として見たとき、それはまわりの自然を汚してはいないでしょうか。ただ建てるのでなく、建てる位置、規模、材料、色彩などを、風景に合うように考えてみると、それは全く違う印象になるでしょう。まちでもむらでも、まわりに少し目を向けてお互いに思いやる心を持てば、美しいひょうこの実現はすぐそこなのです。

■お問い合わせは

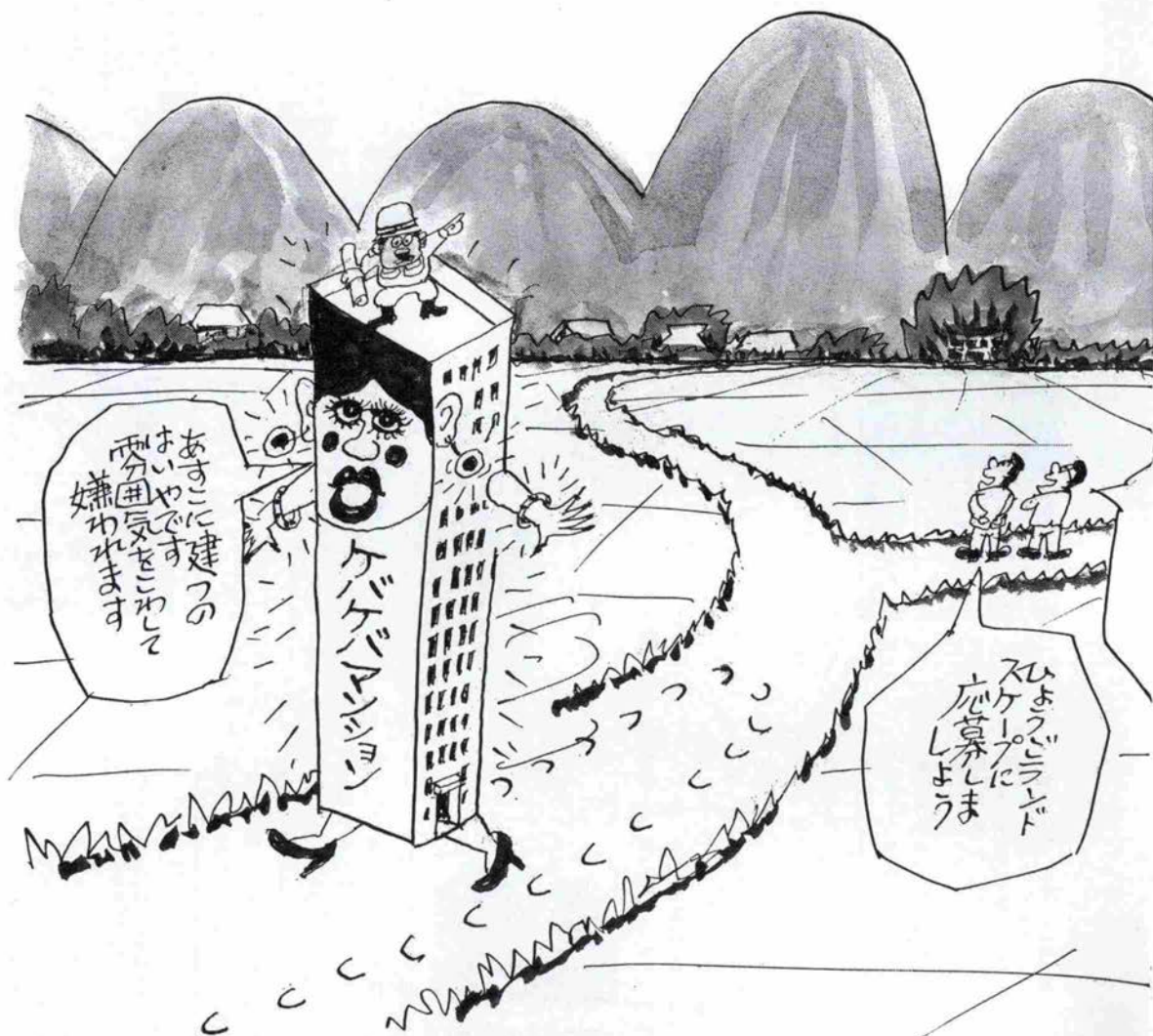
兵庫県都市住宅部都市政策課景観担当
☎〇七八一三六二―三五七七

ひびく



ない風景です
も残ってしま
たいですなア

もっちゃん



KOBE FASHION SPOT

★アートのことならおまかせ

ポストカードからポスター、リトグラフ、シルクスクリーンそして油絵まで、アートに関することなら何でも揃うアートギャラリー六甲ハート。

色彩やかな絵やポスター、そして可愛らしいフットフレイムやお洒落なアートフレイムなど店内は眺めているだけでも楽しい。



色彩やかな絵やポスターがいろいろの店内

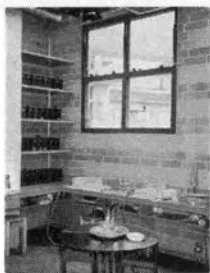
お気に入りの絵やポスター、そしてお皿などを、その色や型に合わせて素敵に額装してもらえ、フレイミングセンターもあるので、自分だけのオリジナル額を作ってみるのも楽しいし、結婚や出産などのお祝いに贈っても喜ばれること間違いなし。画廊と製額店をたしたようなお店です」とオーナー。

■六甲ハート

神戸市東灘区向洋町中5-15
六甲アイランドリバーモール1F
電話(078)857-18265
営業10時30分~20時 木曜定休

★オリジナルを作ってみませんか

尼崎で産声をあげたシンプルなオリジナルデザインで人気のシルバークセサリーの店PERC A S Oが、21年目の春を迎えた今年の3月に彫金の工房とショップ



スローテンポなサンバが流れる工房

をドッキングさせて六甲アイランドに登場。

「住居地の中で、落ち着いて仕事をしたかったんです」とオーナーの林さん。スローテンポなサンバが流れる中、自分だけのオリジナルデザインを作製するひとときはきっと楽しいに違いない。

■PERC A S O

神戸市東灘区向洋町中5-15
六甲アイランドリバーモール2F
電話(078)858-2048
営業10時30分~20時 木曜定休
彫金教室 月・火・水 13時~16時
17時30分~20時30分 月4回授業
入会金3万円 月謝1万2千円

★一家に一本旗を掲げよう

従来の旗とは全く異なる発想で旗を作っているE Aが今人気を呼んでいる。「庭に花を植える感覚でオリジナル旗を掲げ、生活に潤いを与えてほしい」とはオーナーの話。オーナー夫人が、注文に応じたデザインを考え一枚一枚手作りで



店内は、元気が出そうな旗がいっぱい

で仕上げる。結婚祝や出産祝などのちょっとした変わったおもしろいプレゼントに最適。フルオーダー旗7万円。オリジナル旗2万8千円

■E A

神戸市東灘区向洋町中5-15
六甲アイランドリバーモール2F
電話(078)858-11990
営業10時30分~20時 木曜定休

★歴史と伝統に育まれた韓国家具

日本で唯一、韓国貿易振興公社の認可を受けるインテリアショップ。韓国家具と言えは、まず思い浮かぶのが李朝時代(14C.末~19C.初)のもの。年代ものも置かれているが、当時と同じ製法による新



「草木染」の家元でもある取締役常務 乾 真紀さん

製作ものが、手頃な価格で扱われている。その他、新羅、高句麗時代からの二千年の伝統を誇る螺鈿細工、また、玉石細工、華角細工(牛の角を開いて伸ばし、絵付をしたもの)等を生かした、美しく格調高い家具、小物が所狭しと並び、品揃えは日本一、国内外問わず全国各地からお客さんが訪れている。韓国青磁の最高峰海剛氏の作品も扱う。

■韓K・M・C

神戸市中央区元町通5丁目7-11
電話(078)371-7626
営業10時~19時 第2・4水曜定休

Autumn Winter Collection '93'94

月の雫を吸って、
 秘めやかに
 育った…という
 葡萄色のスーツ。
 秋のエleganceは
 色を楽しむことから。



serizawa
 KOBE

本 店
 神戸市中央区三宮町3-1-8
 TEL.078-331-1695

●レディス●

本 店
 さんプラザ店
 センター街店
 さんちか店
 P-4ショップ

●メンズ●

メンズセリザワ

KOBE・OSAKA・TOKYO
 KYOTO・HIMEJI・GIFU



お洒落のための特典いろいろ。
 1枚のカードから。

セリザワカード

健康対談

とちゅうよう
高貴茶・杜仲葉を語る

とちゅうよう

杜仲葉を世に出したパイオニア

石阪春生さん VS 上本富士哉さん

(富士杜仲樹代表取締役)



石阪先生のアトリエにて和やかに対談される石阪先生と上本社長

今や空前のブームとなっている高貴茶・杜仲葉でおなじみの富士杜仲樹の上本社長と兵庫区在住の画家石阪先生は、共に関西学院大学の経済学部ご卒業です。そこで、2年後輩の上本社長に先輩である石阪先生のアトリエを訪ねて頂き、杜仲葉についてお話頂きました。

★素晴らしい薬効の杜仲葉

石阪 先日、「おもいっきりテレビ」で紹介されましたね。問い合わせが殺到して、品切れになった店もあったとか…。

上本 お陰様ですごい反響があったようです。先生も飲んで下さっているようですが、どのようにしてお飲みですか。

石阪 コーヒーを沸かすガラスのポットで濃く出して、いつも食卓に置いてるんです。家内と2人分の量もちょうどいいし、ガラスは色がよく見えるからいいです。上本 毎日飲む分を適当に濃く沸かした方がエキスが良く出て美味しいですから、理想的な飲み方ですね。

石阪 ところで、杜仲葉について詳しいお話を伺えますか。



石阪先生

上本 杜仲というのは、中国の四

川省などで野生している落葉喬木で、その樹皮が「高貴薬」として漢方薬の中でも珍重されているんです。利尿効果、便秘解消や血圧を安定させる効果、又、肝臓の働きを助ける作用など素晴らしい薬効があるんですが、薬についてはあまり研究されていませんでしたので薬にも薬効があるのではと、漢方薬の權威である富山医科薬科大学の難波教授に依頼して科学的に杜仲葉の薬理作用を研究してもらったんです。6年半の動物実験などの研究の結果、葉にも樹皮と同じ効果があることがわかったんです。石阪 葉に目をつけられるとは、素晴らしい洞察力ですね。

★「たかがお茶」から始まって…。

上本 もともと既に栽培地長野で一番最初に製品化されていたんですが、マネージメントがでさなく挫折してしまったのです。当時僕



上本社長

は船のコンサルタントをしてたんですが、ある出版社に勤めている大学の後輩から「今（昭和59年発行）『幻の薬木・杜仲秘健康法』を出版していますが、知名度もなくパツとしない、しかし、大変素晴らしいお茶なので、社長は顔が広いから何とか世に出してほしい」と言われてましてね。最初は「たかがお茶」と思ってたんですが、その後輩が「これでお酒を割って飲むと絶対に2日酔いしない」と断言するものですから、当時いつも2日酔いに苦しんでいた僕としては一度試してみようと、友人3人とウイスキーを杜仲葉で割って徹底的に飲んだんです。お酒を飲んだ次の日は、頭が重くて昼過ぎまでグタッとしてましたし、食事が喉を通るのは夕方になってから。で、「これは明日、えらいことになるゾ」と思ってたが、翌朝、頭は重くないし、朝食もベロツと食べられたんです。後の2人に聞いても「全然2日酔いしない」と言うんですよ。で、「これはホンマモンや」と思いまして「それでは僕が何とかしてみよう」ということになったんです。

石阪 経済学部出身の腕の見せどころですね（笑）。

上本 杜仲葉茶の製品化に関しては「味の良さ」を徹底的に追求しました。製法や品質管理など、研究と工夫を重ねて世に広めていったんです。

今、日立造船のバイオ事業部でも「杜仲茶」として製品化していますが、造船不況の時に僕が「頭を

切り替えて、ハードからソフトへ発想の転換をはかったらどうですか。これから健康産業は伸びますよ」と杜仲の苗木をお分けしたんですよ。日立造船の方も僕と同じで最初は「たかがお茶」と思ってたんですが、試飲したら、便秘は治るし、利尿作用はあるし、2日酔いしないしで、何とかやらせてほしい」ということになったんです。この市場はまだほんの一握りですが、いいものであれば、これからまだまだ伸びるでしょう。石阪 社長はこの素晴らしい杜仲葉を世に出した「バイオニア」ですね。僕も体が頑強とはいえないので健康に良いお茶は助かります。今後も続けて飲みたいものです。上本 お茶を飲んで、どうぞいい作品を製作して下さい。

（石阪先生宅にて）

富士杜仲株式会社

〒661 尼崎市武庫之荘1-19-12

TEL (06) 432-0770 (代表)

FAX (06) 436-0901

世界を駆け 美しい髪 美しい肌

湯川スミ直筆

K O B E 歌舞伎 シリーズ ④

●歌舞伎役者・坂東八十助夫人（元・宝塚歌劇団）

寿 ひずるさんを知る 頑張ればできないことはない 世の中なにごとともロマン

インタビュア 中村 範平

（株加美乃素本舗取締役）

今回のお客さまは、元宝塚スターの寿ひずるさん。ご主人の歌舞伎役者・坂東八十助さんとともに京都に滞在中の寿さんを神戸に迎えて、まずは京都南座「九月花形歌舞伎」のお話を……。

★「牡丹灯籠」は

歌舞伎新時代の予感

中村 いま上演中の「九月花形歌舞伎」、私も拝見しました。今回ご主人の坂東八十助さんは「牡丹灯籠」で一人二役、見事な早変わりでしたね。

寿 あまりに早くて、変わったことがわからない方もいらつしやったようなんです（笑）。

中村 怪談話でありながら、コミカルなところもあって、従来の歌舞伎とはひと味違った印象を受けたんですが……。

寿 もともと新劇のために書かれた作品ということもあって、テンポが早いんです。九月の興行はお



宝塚や歌舞伎の話に花が咲くお二人
（神戸ハーバーランドニューオータニ）

客さまの入り方が難しいと言われているんですが、お陰様で連日大勢のお客さまにお運びをいただいています。主人にとってもやり甲斐

があるし、いちばん嬉しいでしょうね。

中村 それにしても、あれだけの舞台を昼夜続けて務められると、

相当お疲れになりますでしょう。やはり奥様との一体感がいい舞台を盛り上げていくのでしょうかね。奥様としては、ずいぶんお気遣いされるのでは……。

寿 そうですねえ、朝起きた時そして帰って来た時の状態を見ますと……。

中村 だいたい一目見ておわかりになりますか。

寿 わかりますよ、「今日はあまり話しかけない方がいいかな……」とか（笑）。きつと、どこのご夫婦でも同じでしょうね。

★トップスター目前に退団を決意
中村 私どもは宝塚とは、寿さんを始めとするタカラジェンヌの方々と全国28ヶ所「加美乃素オンステージ・タカラジェンヌ」がやってきた「でござ」緒させていただいたり、貸切り公演を通じてもう20年以上のおつきあいをさせていただいて、ほんとうにご縁が深いです

ね。

寿さんはその宝塚でトップを目前にして、ご結婚のために退団されたわけなんです、迷いはなかったんですか。

寿 ありましたよ、それは。私と主人は宝塚と東京で離れているうえに、お互い舞台がありましたが、まさか結婚というお話が出るとは思っていませんでした。でもずいぶん悩みました。トップとしてあの大階段を降りてくる姿を夢見てここまでできたわけですし、応援してくださったファンの人たちにお返しをしなければ、と考えていました、それも自分の自己満足だけのような気がして…。

中村 でも周りの方からかなり引きとめられましたでしょう。



10年ぶりに素敵な歌声を聞かせてくれる寿 ひずるさん

寿 はい。当時は宝塚歌劇団70周年を控え、その時には月組・大地真央、雪組・麻美れい、星組・峰さを理、そして花組・寿ひずるの4人がトップとして並ぶだろうと思っただけで、また主人もそれを知っていたように、いつ辞められますか」と尋ねられたんですが、まさかそんなにすぐ辞めるとは彼も思っていなかったらしいですね(笑)。ただ、70周年をトップとして迎えていたら、私はきつと結婚していませんかったと思うんです。まあ、何かしあわせかはわかりませんが、決して主人に辞めさせられたのではなく、自分で選んで納得して退団したわけですから…。今では自分の選択は間違っていなかった、



中村 範平さん

と思っています。

中村 そして今や花形ご夫婦ですからねえ。ほんとにご縁があったんですね。

★朝、顔を洗ったとき

いつもの朝じゃないみたい

“バイオシグナル”基礎化粧品

中村 ところで寿さんには私共の基礎化粧品“バイオシグナル”をお使いいただいているそうなんですが、使い心地はいかがですか。

寿 洗顔フォームがすごくさっぱりして気持ちいいんです。そのあとに使うものの中で特にリンクルエッセンスがすごく気に入っています。次の朝のお化粧のりが全然違うんですよ。

中村 “バイオシグナル”は天然のモイスチャー成分を基本に、処方したスキントリガーという独自の成分を中心にしています。皮膚自身を持つている力を活性化するという開発コンセプトで作ったシリーズなんです。

寿 私は「さっぱりタイプ」と「しっとりタイプ」のふたつの化粧水を使い分けているんです。お風呂あがりに「さっぱりタイプ」を使っ

